



チャレンジマーケット参加で 問い合わせが増加 野菜や果物のうまい凝縮、乾燥させる 真空フライヤーを開発

健康ニーズに応える

同社の真空フライヤーを使って乾燥させたサツマイモ、ニンジン、パイナップルは、野菜や果物本来の味が損なわっておらず、滋味、甘味が凝縮されています。油で揚げているにもかかわらずあっさりした食感が特長です。「真空状態で揚げているので素材の味や風味、色がそのまま残るのが最大の強みです」と鯛社長は胸を張ります。

真空下で圧力が低い状態なので、水の沸点が下がり、通常のフライヤーでは170度程度で揚げるところを真空フライヤーを使うと100度以下で揚げることができます。このため、食品の組成を破壊することなく揚げられるのです。低温のため油の傷みや酸化が少くなり、生産コストが抑えられるほか、真空下で油の遠心分離を行うことで油を極力野菜や果物に残さないなど、健康志向のニーズにも応えています。

鯛社長が現在販路として狙っているのが農業法人や農家です。「廃棄される規格外の農作物を真空フライヤーを使ってチップスとして商品化できれば、廃棄物の削減だけでなく事業収益も生み出すことになり、一石二鳥になります」とアピールしています。また、

乾燥によって半年近く保存できるようになり、防災食や保存食としても販売したいと話します。

テレビで放映も

真空フライヤーは10年以上前から開発を進めていましたが、2年前に大手即席めんメーカーから、生のタマネギを乾燥させたかやく(具)を使いたいとの依頼を受け、商品化したのをきっかけに事業を本格的に始めました。真空フライヤー装置がまだ一般的には認知されていない一方で、ユーザーからは高い評価を得ており、食品関連の展示会などにも積極的に出展し、まず装置の存在を知ってもらうところから始めています。

ひょうご・神戸チャレンジマーケットも新たな販路開拓を求めての参加でした。「発表の後、金融機関から早速訪問を受け、地域の企業や農業従事者につなぎたいと言っていたいただきました」。またホームページ上でチャレンジマーケットに参加したことを見掲載できる効果も大きいと言います。

「行政のバックアップを

受けている企業だということは信用につながります。ホームページを見て問い合わせてくるところも増えています」と鯛社長。テレビ番組でも真空フライヤーを紹介してもらえたそうです。

自分らしさを込めて

同社は、鯛社長が16年前に創業。以前勤めていた食用油濾過装置メーカーの経営が傾いた時、「このままでは、オンリーワンの技術が世の中から消えてしまう」との危機感から技術に関する権利を買い取り、その後自ら研究開発・製造・販売を始めました。濾過装置は食品製造時に使う油に発生する細かいかすを濾紙でこした後、再利用できるようにしたもので、創業後、即席めんメーカーを中心に着実に取引先を広げていきました。



真空フライヤーを使って乾燥させた野菜や果物

現在は、兵庫県立大学と共同で、真空フライヤーを使ってできた野菜、果物の乾燥品が、いかに本来の組成を残し、風味や味を保っているかを検

証する研究も進めています。また、利用する企業のそぞ野を広げるため、機構を簡素化した廉価版の小型試作用装置も開発。6月から販売を始め

ました。工場内には大型の連続型装置も備え、いずれは自社でチップスを商品化し、販売していくことも考えています。

会社概要
株式会社アトラステクノサービス

所在地 神戸市西区神出町広谷407-2
代表取締役 鯛かおる
事業内容 食品用・工業用濾過装置、真空フライヤーの製造販売

TEL 078-965-3119
URL <http://www.atlasts.co.jp/>

支援メニュー講座

ひょうご・神戸チャレンジマーケット

あなたの会社のビジネスプランを応援します 資金調達や販路開拓のチャンスが広がります

制度概要

創業・第二創業、経営革新に取り組む中小企業・ベンチャー企業・個人事業主が、ビジネスプランの発表を通じて、金融機関や一般企業等との幅広いマッチング（資金調達や販路開拓等）を行うチャンスを提供するものです。

応募の中から選定された企業・個人が、「ひょうご・神戸チャレンジマーケット」において、ビジネスパートナーを求めて参加する金融機関・ベンチャーキャピタル・一般企業等の前でビジネスプランのプレゼンや個別商談を行います。

メリット

- 個別ではアポを取るのも困難な大手金融機関等にビジネスプランを聴いてもらうことができ、取引のチャンスが広がります。
- 中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネーターによる販路開拓支援が受けられます。
- プレゼン資料（パワーポイント）作成の個別指導に助成が受けられます。また、プレゼン資料は後の営業ツールとして活用できるため、営業の幅が広がります。
- 各種支援メニューにより事業化を側面からサポートします。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター経営強化部 新事業課 TEL 078-230-8110

言葉を伝える
私に伝えた
誰かのように

株式会社 神戸新聞総合印刷
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。
企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業
http://www.kobenp-printing.co.jp/

あなたの本を
書いて
みませんか？

小説、自伝、詩集などあなたが
お書きになった原稿をご予算に
応じた自費出版プランでご提案
いたします。また、各企業の
記念誌等の企画・プロデュー
スもいたしております。どうぞ
お気軽にご相談ください。

ISO14001
当社の印刷センターはISO14001の
認証を取得しています。
新聞印刷及び各種商業印刷

